

平成27年度労働事情実態調査結果のポイント

調査の概要

- ・調査時点：平成27年7月1日
- ・調査対象：県内中小企業1,300社
- ・回収状況：525社（製造業281社、非製造業244社）
- ・回収率：40.4%

◇経営状況

「良い」19.6%（昨年21.3%）、「悪い」27.9%（昨年25.1%）

◇主要事業の今後

「現状維持」59.4%、「強化拡大」35.4%

◇経営上のあい路

「人材不足（質の不足）」41.9%、「販売不振・受注の減少」35.8%、「原材料・仕入品の高騰」34.0%

◇経営上の強み

「顧客への納品・サービスの速さ」30.4%、「製品の品質・精度の高さ」28.4%、「技術力・製品開発力」28.2%、

◇週所定労働時間

「週40時間」以下の事業所は92.3%（昨年90.3%）

◇月平均残業時間（従業員1人当たり）

従業員1人当たりの月平均残業時間は、「10時間未満」が22.9%で最も多く、次いで「0時間」が21.9%、「10～20時間未満」が20.9%

◇月60時間超残業

平成26年に月60時間超残業を行った従業員が「いる」とした事業所26.8%
頻度については「3回から5回超える」42.2%、「1回から2回超える」25.9%、「6回から8回超える」18.5%

◇時間外労働削減策

「仕事のやり方の工夫・改善」 55.9%、「人員の増員」 22.8%、「管理職による時間管理の徹底」 22.2%

◇年次有給休暇（従業員1人当たり）

平均付与日数 15.55日、平均取得日数は7.48日で、取得率は48.10%

◇平成27年3月新規学卒者採用状況

技術系全体：採用計画 270人に対し、233人採用（充足率86.3%）

事務系全体：採用計画 93人に対し、85人採用（充足率91.4%）

◇新規学卒者の平均初任給（平成27年6月の通勤手当を除く所定内給与）

高校卒：技術系 162,281円（対前年比 181円減）

事務系 168,930円（対前年比 19,436円増）

専門学校卒：技術系 167,956円（対前年比 6,877円減）

事務系 171,222円（対前年比 15,738円減）

短大卒(含高専)：技術系 175,290円（対前年比 10,210円減）

事務系 162,456円（対前年比 313円増）

大学卒：技術系 192,838円（対前年比 18,081円減）

事務系 192,235円（対前年比 46円減）

◇平成28年3月新規学卒者採用計画

採用計画が「ある」とする事業所は29.4%

学卒別平均採用計画：「高校卒」 61.7%、2.53人

「専門学校卒」 36.9%、1.91人

「短大卒(含高専)」 11.4%、1.24人

「大学卒」 52.3%、2.24人

◇有期労働契約の無期転換ルール等認知状況

「無期転換ルール」について「知っていた」 51.4%、「知らなかった」 48.6%

「無期転換ルール特例」について「知っていた」 28.4%、「知らなかった」 71.6%

6%

特例の適用について計画が「認定された」、または計画を作成し提出する「予定がある」 5.3%

「認定を受けた」または「認定を受けようとしている」計画内容は、「高度専門職に関する申請書（第一種計画認定）」8.7%、「継続雇用の高齢者に関する申請書（第二種計画認定）」91.3%

◇賃金改定状況

平成27年1月1日から7月1日までの間に賃金を「上げた」のは50.0%、「未定」21.0%、「今年は実施しない（凍結）」が14.6%

改定後平均賃金 255,515円（加重平均）

平均改定額 4,839円

平均改定率 1.93%

賃金改定の内容は、「定期昇給」51.5%、「基本給の引上げ（定期昇給制度のない事業所）」35.9%、「ベースアップ」18.1%

賃金改定の決定要素は、「企業の業績」が70.6%、「労働力の確保・定着」47.8%、「世間相場」25.3%